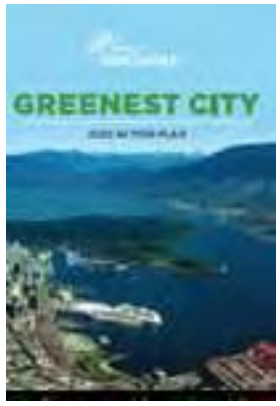
「政策目標はシンプルがよい：100％再生可能エネルギー」
グレゴール・ロバートソン市長（バンクーバー市）

バンクーバー市（カナダ）

ブリティッシュコロンビア州で最大の都市（人口60万人）

基本構想

- 「世界で最もグリーンな都市」
- 「再生可能エネルギー100%都市」



経緯

- 「世界一のグリーン都市行動チーム」を組織（2009）
- 「輝ける緑の未来（自治体基本構想）」（2010）
- 「世界一のグリーン都市2020行動計画」（2011）
- 「再生可能都市戦略：2050年に至る我々の未来」（2015）
- 公約から7年間で500位圏外から世界第4位に躍進

バンクーバー市（カナダ）

気候変動対策・エネルギー目標

- 2050年までに市内エネルギー消費**100%再生可能エネルギー**で賄う
- 2050年までに**GHG排出を80%削減**（2007年比）

「世界一のグリーン都市2020行動計画」

- **「ゼロ・カーボン」・「ゼロ廃棄物」・「健全な生態系」**
- 建築分野：建築基準（厳しいエネルギー効率条件）
- 交通分野：徒歩・自転車・公共交通・電気自動車の充電プログラム
- エネルギー分野：再生可能エネルギーの導入
- きれいな大気、きれいな水、地元食材
- グリーン経済への移行（ブランド戦略によるグリーン企業誘致）

アプローチ

- **徹底した参加型の意思決定：**基本構想の準備から計画策定まで市民との対話を繰り返す
- 市民の意識啓発・オーナーシップの向上

「都市は革新のエンジンで変化の実験場だ」
ジョージ・ファーガソン市長（当時）（ブリストル市）

ブリストル市（英国）

イングランドで8番目に大きな都市
英国全土で10番目（人口44万人）

2015年「欧州グリーン首都」

基本構想

- 「市民の健康と幸福の向上」
- 「生活水準の高い低炭素都市」
- 「英国初の100%再生可能エネルギー都市」
- 「創造×デジタル×低炭素で17,000人の雇用創出」

経緯

- 2000年からの着実な取組
- 家庭部門のエネルギー使用を16%削減（2005-2010）
- 住宅エネルギー効率を25%向上（2000/2001-2011）
- 交通とエネルギー分野への大きな投資

ブリストル市（英国）

気候変動対策・エネルギー目標

- 2020年までにCO2排出を40%削減（基準年は2005年）
- 2050年までにCO2排出を40%削減（同上）
- 2050年までにカーボンニュートラルを実現

主要施策

- **エネルギー・食・自然・資源・交通の分野で200超のプロジェクト**
- 「ブリストル・グリーン・ドア」
- 「市民エネルギー共同組合」
- 「こども一人一本植林プロジェクト」

アプローチ

- **住民参加**を促すコミュニケーション戦略
- 地元大学・企業・コミュニティーの巻き込み
- 地域力の徹底活用と遊び心

まとめと課題

- 今世紀後半には脱炭素社会（カーボンニュートラル）

- 移行を前提とした長期的なビジョン形成が必要
- 持続可能な地域のビジョンは参加型でつくる

- 自治体基本構想・基本計画での位置づけが重要

- 緩和策の基本はシンプル
  - ✓ 建築物・交通分野を中心とする省エネ
  - ✓ 再生可能エネルギーの導入
  - ✓ GHG排出インベントリの整備とPDCAサイクル

- 実施も参加型で行う
- 健康と幸福と将来世代のために楽しみながら

ご清聴ありがとうございました。

一般社団法人イクレイ日本

東京都港区西新橋1-14-2　新橋SYビル4F

TEL: 03-6205-8415

Email: takashi.otsuka@iclei.org

URL: www.iclei.org/japan

【参考資料】

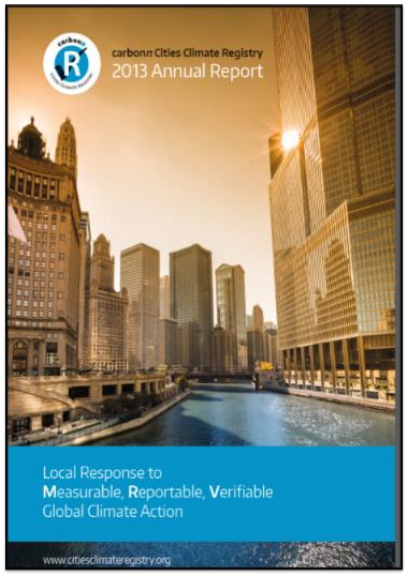
イクレイの国際イニシアティブ／ネットワーク

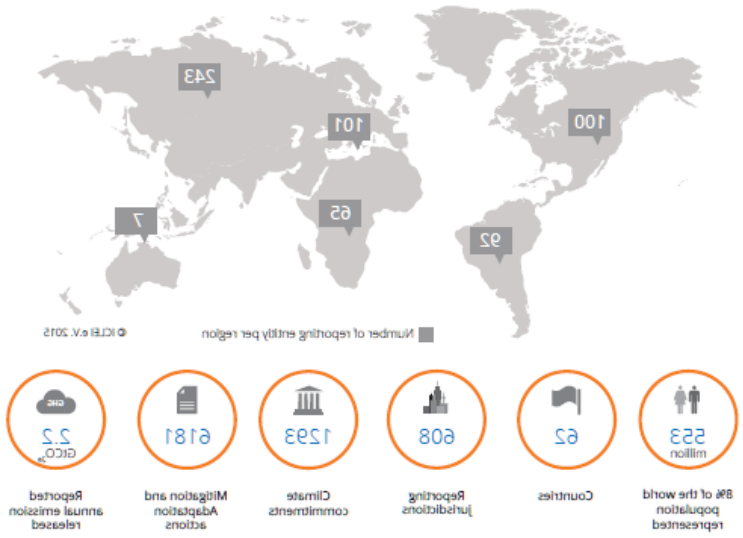
- carbon*n* 都市気候レジストリ
- 気候変動政策のための「首長誓約」(Compact of Mayors)
- 転換のための行動プログラム（TAP）

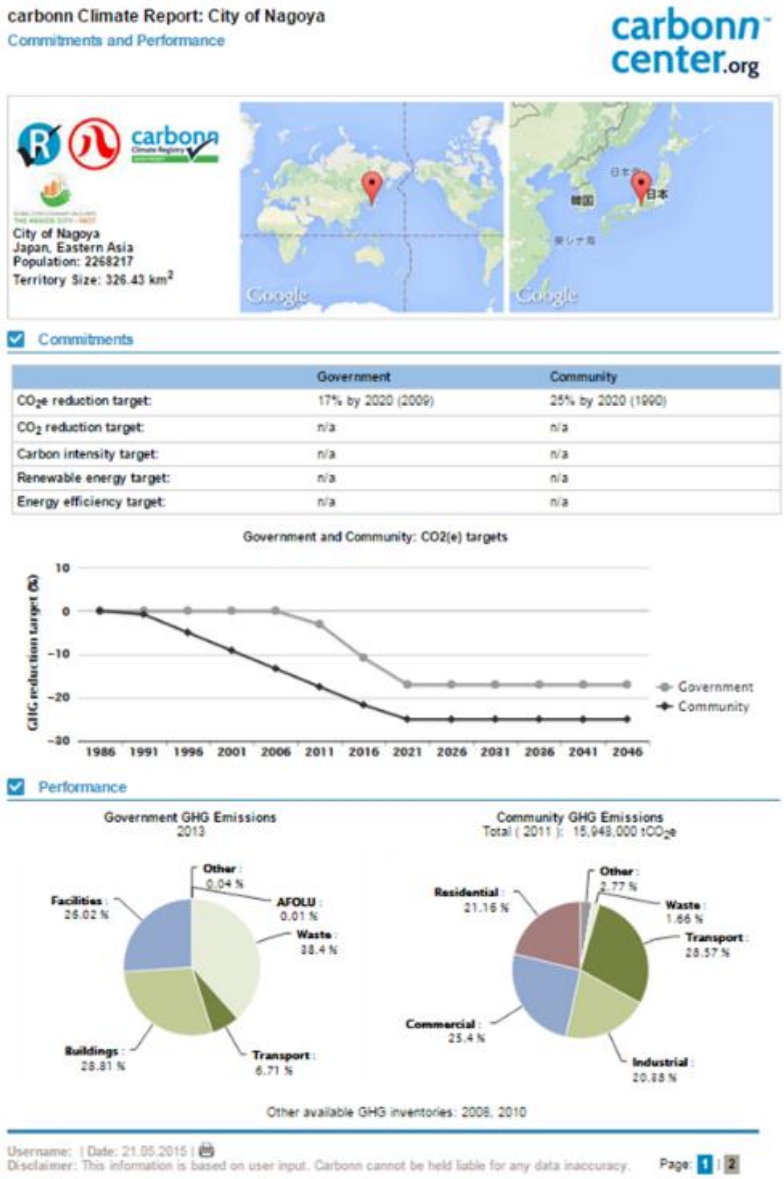
- 100%再生可能エネルギーを目指す都市・地域ネットワーク
- 街区エネルギーに関する世界イニシアティブ（DEC）
- 建築物効率アクセラレーター（BEA）
- エコ・モビリティ・アライアンス
- 持続可能な公共調達を実施する世界先進都市ネットワーク

Carbonn 気候レジストリ

- 自治体のための報告プラットフォーム
- GHG削減目標、実施計画、取組、削減実績
- 気候変動への適応に関する取組
- 気候変動政策のための「首長誓約」と連動
- GPC様式による温室効果ガス排出量の算定







気候変動政策に関する首長誓約

- 2014年に発足。都市の気候変動対策を加速する最大規模の連携
- 2016年6月時点で507自治体が参加
- 緩和策・適応策について着実に取り組み進捗を公表
- 先進自治体としてのリーダーシップの表明と国際的認知・信頼

３つの国際都市ネットワークによる共同の運営

誓約の遵守

- 参加表明
- 1年目：インベントリの公表 ／ 気候変動ハザードの公表
- 2年目：削減目標の公表 ／ 脆弱性評価結果の公表
- 3年目：緩和行動計画の公表 ／ 適応行動計画の公表

TAP Transformative Actions Program 転換のための行動プログラム

- 2015年発足。自治体による取組の野心度の向上のための10年プログラム。
- 低炭素でレジリエントな社会への転換にむけた行動の加速
- 「過去の成功体験」ではなく「未来に向けた野心的な計画」
- 先進的な取組への関係者の関与の拡充と必要な資金へのアクセス向上

プログラムの概要

- TAPプロジェクト・行動計画の選定（毎年100件）
- オンラインプラットフォームでの可視化・情報共有・コミュニケーション
- COP等の機会を通じたプロモーション（TAPパビリオン@COP21）

社会の転換に向けた潜在性（プロジェクト選考基準）

- 野心的（世界初・規模拡大）
- 横断的（社会的弱者への配慮・地域資源の活用）
- 包摂的（自治体内の部署間連携・市民参加・多層的ガバナンス）

100% Renewable Energy Cities & Regions Network

100%再生可能エネルギーを目指す都市・地域ネットワーク

- 2015年に発足。100%再生可能エネルギーを推進する自治体の世界ネットワーク。
- これまでイクレイは、世界的な再生可能エネルギー推進を目的に民間や研究機関が共同で立ち上げた『100%再生可能エネルギー世界キャンペーン（Global 100% Renewable Energy Campaign）』に参画し、自治体・地域のネットワーク構築を本格的に開始し、参加を呼びかけてきた。
- 本ネットワークを通じて、地域の100%再生エネルギーを野心的に進める自治体の取り組みを国際的に発信し、志を同じくする都市や専門家との情報交換・連携を推進することによって、参加自治体による再生可能エネルギー政策を支援していく。

プログラムの概要

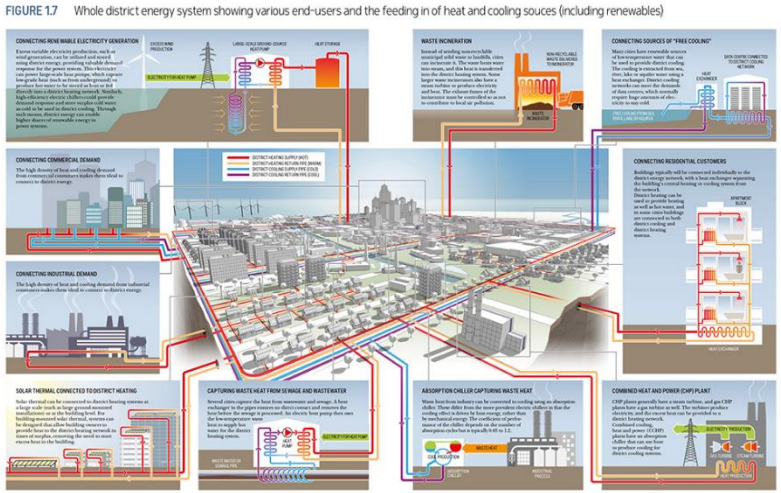
- 国際会議での発表
- ウェビナー参加
- 自治体による相互視察など

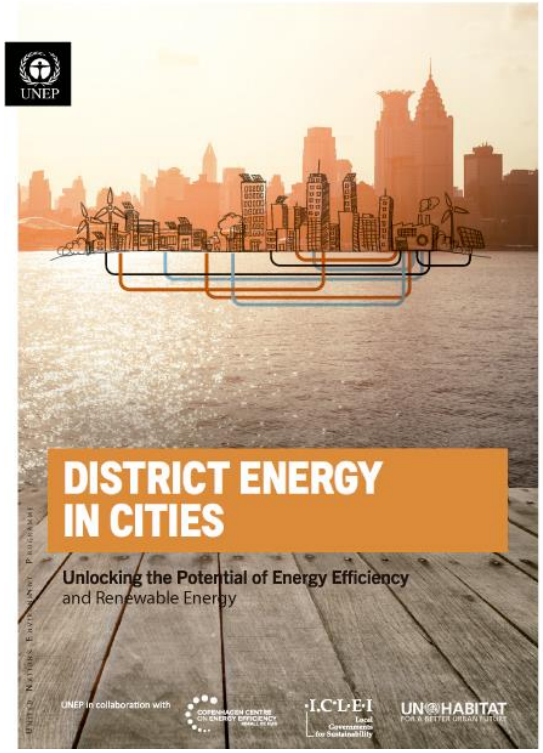
都市における街区エネルギー世界イニシアティブ（DEC）

- 2014年に発足。イクレイがUNEPやC40などと共同で推進。国連の主導するSE4ALLの実施イニシアティブのひとつ。
- 都市部の街区における熱伝併給の促進・規模の拡大等により気候変動の緩和に寄与することを目的とする。
- 2016年2月時点の参加都市は28都市。

プログラムの概要

- 再生可能エネルギーの利用拡大とエネルギー効率の改善。
- ツイニングなど





Building Efficiency Accelerator（BEA）

ビルディング効率アクセラレーター（BEA）

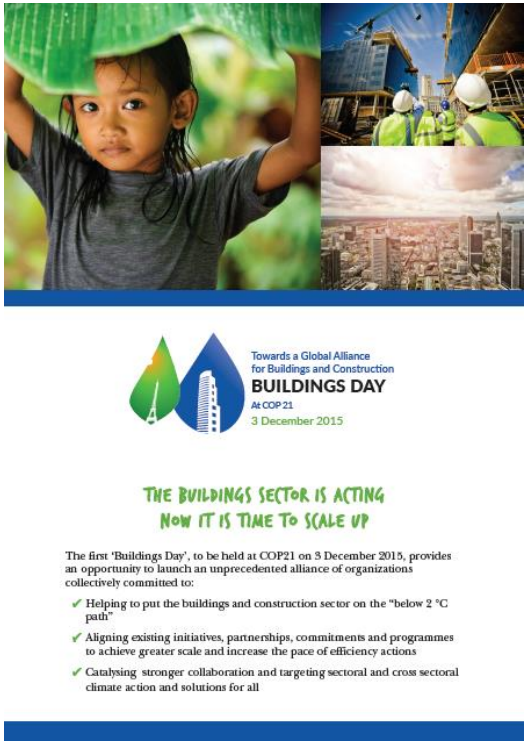
ICLEI Local Governments for Sustainability

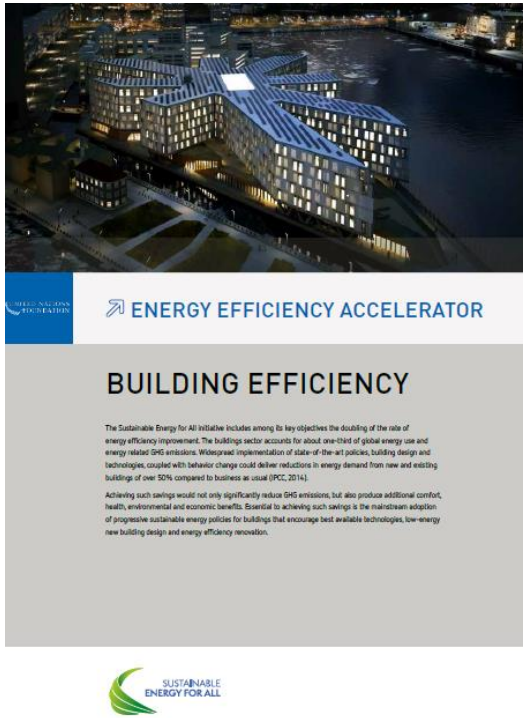
- 2014年に発足。イクレイがWRIなどと共同で推進。国連の主導するSE4ALLの実施イニシアティブのひとつ。
- 温室効果ガス排出の3分の１を占めるというビルディングのエネルギー効率の改善、取組み規模の拡大等により気候変動の緩和に寄与することを目的とする。

プログラムの概要

- 地域の実情に合わせた政策と取組の優先順位付け
- 専門家、リソース、ツールの提供
- 取組の追跡、進捗の記録、経験の共有
- 能力開発など

SUSTAINABLE ENERGY FOR ALL





エコ・モビリティ アライアンス

- 2011年に発足。2016年2月時点で、世界18都市が参加。
- 自治体間の情報・経験の共有を通じたエコ・モビリティの国際的な推進を企図する。

プログラムの概要

- 代表都市は2年ごとにもちまわり。2年ごとに代表都市で世界フェスティバル＋世界大会を開催。
  - 2012-2013　水原市（韓国）、2014-2015　ヨハネスブルグ（南アフリカ）、2016-2017　高雄市（台湾）
- 都市における持続可能な交通のベンチマーク指標（Eco Mobility Shift）の導入などを含む。

EcoMobilit
A Program of ICLEI – Local Governments for Sustainab

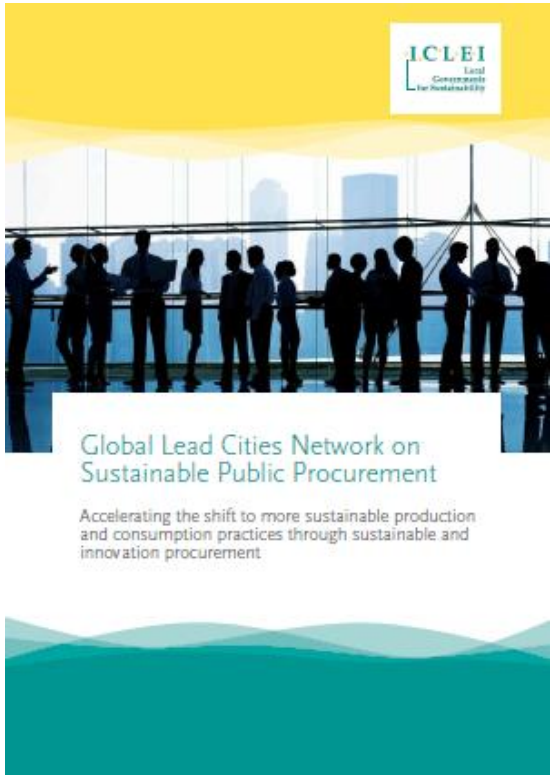
Global Lead Cities Network on Sustainable Public Procurement (GLCN on SPP)

持続可能な公共調達世界先進都市ネットワーク

- 2015年に発足。COP21において第1回年次会合を開催。
- 持続可能な消費と生産への移行を促進するために、自治体のもつ公共調達を通じて貢献する。同時に温室効果ガス排出削減も視野に入れ、参加都市は資源効率性の高い、低炭素な社会への移行に向けたリーダー、チャンピオン、大使として機能する。
- 2015年12月時点の参加都市は５都市。

プログラムの概要

- SPP目標の設定と実施のための施策・戦略の開発
- 年度ごとの進捗レビュー
- 国際会議への参加など



イクレイを通じた機会創出の例：2016

- レジリエントシティズ・アジア太平洋会議 2016（3/2~4、ML・マラッカ)
- East Asia Clean Air Cities　(5/19~20、韓国・ソウル)
- 第２回国連環境総会　(5/23~27、ケニア・ナイロビ)
- Metropolitan Solutions 2016　(5/31~6/2、ドイツ・ベルリン)
- SDGsアーバンポリシーフォーラム　(6/8~10、韓国・ソウル)
- レジリエンス・適応国際都市フォーラム（7/6~8日、ドイツ・ボン）
- ISAP2016　(7/12~13、日本・横浜市)
- Seoul Mayors Forum on Climate Change 2016 (9/1~2、韓国・ソウル)
- 第71回 国連総会　(9/13~20、米国・ニューヨーク)
- 第３回国連人間居住会議（HABITATⅢ：10/17~20、エクアドル・キト)
- UNFCCC-COP22　(11/7~18、モロッコ・マラケシュ)
- 第1回世界ご当地エネルギー会議　(11/3、日本・福島市)
- CBD-COP13　(12/4~17、メキシコ・カンクン)

G7 富山環境大臣会合パラレルセッション

都市の役割

2016年5月15日 富山県富山市

発表者

フィレンツェ市　ダリオ・ナルデッラ 市長　　バンクーバー市　グレゴール・ロバートソン 市長
ヴィトリー・ル・フランソワ市　ジャン・ピエール・ブーケ 市長
イギリス・ブリストル市　ジョージ・ファーガソン市長（2012-2016）
フランクフルト・アム・マイン市　ペーター・フェルトマン 市長
東松島市　阿部 秀保 市長　　北九州市　北橋 健治 市長　　富山市　森 雅志 市長
100 のレジリエント・シティ　地球環境ファシリティ（GEF）
イクレイ-持続可能な自治体協議会（ICLEI）　環境未来都市推進委員会

共同議長

富山市　森 雅志 市長
浜中裕徳 地球環境戦略研究機関（IGES）理事長

G7 富山環境大臣会合パラレルセッション

背景

都市は市民に近い目線で持続可能な社会への変革に向けた課題に直面

都市は持続可能な開発を実践する現場

迅速かつ分野横断的な意思決定と地域の特色を活かした取組が可能

都市が果たす先導的な役割への期待は高い

既に多くの 地方自治体が多様で革新的な計画を実施している

都市が施策を推進する上で中央政府が果たすべき役割を検討・議論

テーマ

「交通網の近代化とコンパクトかつ強靭なまちづくり」

「地域資源を活用した低炭素で強靭なエネルギー需給に係る取組」

「都市の先進事例の共有と都市間連 携の促進・国際機関の果たす役割」

15日夕刻記者発表

16日朝食セッション

G7環境大臣会合初の大臣と市長らによる円卓会合

共同議長サマリーのメインメッセージ（都市及び中央政府の重要な役割）

- **持続可能な社会への移行を実践する自治体の先進的な取組を、認知し、支援し、ショーケースする**
- **自治体のネットワークを促進し、新たな都市の参画を奨励する**
- **都市の役割を主流化する**

主要国際会議の機会をとらえて繰り返し発信（一部予定）

- 国連気候変動枠組条約第44回補助機関会合（SB44）及び第1回パリ協定特別作業部会（APA1）（2016年5日16-26日、ボン）
- 第2回国連環境総会（UNEA-2）（2016年5月23－27日、ナイロビ）
- 第3回国連居住計画人間居住会議（HABITATT III）（2016年10月17-20日、キト）
- 国連気候変動枠組条約COP22（2016年11月7-18日、マラケシュ）

共同議長サマリーは下記のURLからダウンロード可能
http://www.iges.or.jp/files/research/pmo/PDF/20160515/00_g7city_summary_eng.pdf